

令和2年度いわき市環境基本計画（第二次）一部改定版年次報告書 説明資料

1 年次報告書の概要

(1) 根拠

いわき市環境基本条例

(年次報告書)

第9条 市長は、環境基本計画に基づき実施された施策の実施状況を明らかにするため、年次報告書を作成し、これを公表しなければならない。

(2) 構成

- 施策の展開（令和2年度の主な取組み内容）
- 環境指標
 - ・ 令和2年度の実績と評価
 - ・ 現状や課題
- 今後の取組み

(3) 環境指標に関する目標達成状況の表記及び令和2年度実績

表記	目標達成状況の説明	令和2年度実績 (39指標中)
◎	令和2年度の実績値が、令和2年度目標値を達成している。 (達成率：令和2年度時点で100%以上)	14指標
△	令和2年度の実績値が、令和2年度目標値の達成に至らないものの、前年度から前進している。 (達成率：令和2年度時点で100%未満)	17指標
×	令和2年度の実績値が、令和2年度目標値の達成に至らず、かつ前年度から後退している。 (達成率：令和2年度時点で100%未満)	8指標

(4) その他

本年次報告書は、「いわき市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（=いわき市循環型オフィスづくり行動計画）」の実施状況報告書も兼ねるものとなります。

(5) 令和2年度環境指標一覧

令和2年度における39の環境指標の実績は次のとおりです。

	No	環境指標名	単位	基準値		実績値		目標値
				平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	令和2年度
第3章 施策	第1節 低炭素社会づくり							
	1 再生可能エネルギー利用の推進							
	1	太陽光発電導入量(累計値)	kW	15,221	24,035	25,367	△	28,000
	2	木質バイオマス熱利用導入量(累計値)	GJ	10,549	11,213	11,264	△	11,570
	3	化石エネルギー消費削減量(原油換算時)	kl	16,184	18,453	18,807	△	19,577
	2 省エネルギー対策の推進							
	4	家庭から排出される市民一人当たりの温室効果ガス排出量 ※注1	t-CO2/年	(平成17年度) 1.77	(平成29年度) 1.71	(平成30年度) 1.60	◎	(令和2年度) 1.69
	5	自家用車利用に伴う温室効果ガス排出量 ※注1	千t-CO2/年	(平成17年度) 390.0	(平成29年度) 355.4	(平成30年度) 350.1	◎	(令和2年度) 389.4
	3 環境負荷の少ない都市空間の形成							
	6	一人当たりの都市公園面積	m ²	15.63	16.69	16.86	△	16.97
	7	造林事業実施面積(累計値)	ha	15,007.70	16,388.94	16,625.70	△	17,289.80
	第2節 循環型社会づくり							
	1 発生抑制を主眼とした3Rの推進							
8	一人一日当たりのごみ排出量	g/人・日	1,067	1,016	983	△	950	
9	リサイクル率	%	18.7	22.3	23.3	△	24.0	
2 発生した廃棄物の適正処理								
10	産業廃棄物排出量 ※注2	千t/年	(平成25年度) 3,371	(平成30年度) 3,310	(令和元年度) 3,038	◎	(令和元年度) 3,367	
11	産業廃棄物減量化・再生利用率 ※注2	%	(平成25年度) 95	(平成30年度) 96	(令和元年度) 96	◎	(令和元年度) 94	
3 まちの美化と不法投棄の防止								
12	クリンピー応援隊参加者数	人/年	5,440	5,689	5,558	×	5,600	
13	不法投棄(通報)件数	件/年	488	390	517	×	410	

※1： 基準値は平成17年度。実績値は温室効果ガス排出量の推計に用いる都道府県別エネルギー消費統計データ（資源エネルギー庁）の公表時期に連動するため2年遅れのものとなっております。なお、平成28年12月に公表された都道府県別エネルギー消費統計データにおいて、過去公表データの遡及改定が行われたことなどから、基準値・実績値・目標値について、遡及改定値を用いて再推計した値に修正しております。

※2： 福島県の調査結果に基づき実績値を算定するため、基準年度は平成25年度、実績値は平成29年度・平成30年度、目標値は令和元年度となります。

	No	環境指標名	単位	基準値		実績値		目標値		
				平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	令和2年度		
第3章 施策	第3節 自然共生社会づくり	1 生物多様性・自然環境の保全								
		14	中山間地域等直接支払交付対象面積	ha/年	1,188	1,200	1,128	×	1,199	
		15	エコファーマー認定者数	人/年	646	397	408	△	1,100	
		16	緑地協定面積	ha	197.28	197.28	199.18	△	239.76	
		17	保存樹林面積	ha	6.04	6.04	5.81	×	6.00	
		2 動植物の保護及び管理								
		18	野生動植物等調査種類数	種	0	64	79	◎	25	
		19	イノシシの推定生息数 ※注1	頭	9,248	13,681	13,757	△	13,291	
		3 自然とのふれあいの推進								
		20	海水浴場水質判定基準	%	100.0	100.0	100.0	◎	100.0	
		21	環境アドバイザー派遣事業の受講者数	人	8,687	14,808	15,893	△	20,000	
		22	自然体験イベントの開催数	回/年	22	31	33	◎	30	
		4 大気・水等の保全								
		23	大気環境基準達成率	%	88.2	87.3	88.9	△	100.0	
		24	地下水環境基準達成率	%	100.0	100.0	100.0	◎	100.0	
		25	水質(河川)環境基準達成率	%	100.0	100.0	100.0	◎	100.0	
		26	水質(海域)環境基準達成率	%	100.0	100.0	88.9	×	100.0	
		27	騒音(一般)環境基準達成率	%	100.0	100.0	100.0	◎	100.0	
		28	騒音(交通)環境基準達成率	%	98.1	96.6	98.3	△	100.0	
		29	ダイオキシン類環境基準達成率	%	100.0	100.0	100.0	◎	100.0	
		30	汚水処理人口普及率	%	83.0	86.4	88.5	△	94.0	
		第4節 原子力災害からの 環境回復	1 空間線量モニタリング及び除染							
			31	年間追加被ばく線量が1mSv以下となる地点の割合	%	98.2	100.0	100.0	◎	100.0
			32	住宅除染進捗率	%	33.8	100.0	100.0	◎	100.0

※1：平成31年3月に福島県イノシシ管理計画（第3期）が策定され、推定生息数及び自然増加率等が見直されたことから、基準値・実績値・目標値について、遡及改定値を用いて再推計した値に修正しております。

	No	環境指標名	単位	基準値	実績値			目標値	
				平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	令和2年度	
第4章 推進	第1節 計画推進の仕組み	1 協働による環境保全							
		33	ISO14001・エコアクション21認証取得事業所数	件	75	87	79	×	85
		2 環境配慮活動に対する支援							
		34	子どもエコクラブ会員数	人	847	922	922	△	2,700
		35	森林ボランティア活動等参加者数	人/年	626	767	591	×	1,000
		3 市の率先した環境配慮							
		36	市役所等における電気使用量	千kWh/年	93,779	94,911	90,325	△	89,091
		37	再生可能エネルギー率先導入件数	件	73	125	125	△	増加を目指す
		38	紙(コピー用紙)の使用量	t/年	230	337	356	×	219
39	市本庁舎・東分庁舎からのごみ排出量	t/年	201	185	189	◎	191		

2 令和2年度年次報告書のポイント

目標達成状況の表記が「×」となっている環境指標の詳細は、次のとおりです。

指標12 クリンピー応援隊参加者数 【年次報告書P21～22】

基準値	実績値			目標値	単位
	平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	
5,440	5,689	5,558	×	5,600	人/年

指標の定義 算出方法 等	<ul style="list-style-type: none"> クリンピー応援隊として自主的な美化活動を行っている人数です。 																											
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 131 人/年の減少 (▲ 2.3%) 基準年度比 118 人/年の増加 (+ 2.2%) <p><指標の推移> (単位：人/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>5,594</td> <td>5,640</td> <td>5,657</td> <td>5,670</td> <td>5,689</td> <td>5,558</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>+2.8%</td> <td>+0.8%</td> <td>+0.3%</td> <td>+0.2%</td> <td>+0.3%</td> <td>▲2.3%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	5,594	5,640	5,657	5,670	5,689	5,558	前年度比	+2.8%	+0.8%	+0.3%	+0.2%	+0.3%	▲2.3%
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																						
数値	5,594	5,640	5,657	5,670	5,689	5,558																						
前年度比	+2.8%	+0.8%	+0.3%	+0.2%	+0.3%	▲2.3%																						
指標が後退している理由	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集まる活動が制限され、活動団体が減少したため参加者数が減少しました。 																											
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> チラシやホームページ等を活用し、啓発活動を継続して実施していきます。 																											

指標13 不法投棄（通報）件数 【年次報告書P21～22】

基準値	実績値			目標値	単位
	平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	
488	390	517	×	410	件/年

指標の定義 算出方法 等	<ul style="list-style-type: none"> 市に通報のあった不法投棄件数です。 																					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 127 件/年の増加（+32.6%） 基準年度比 29 件/年の増加（+7.4%） <p><指標の推移> (単位：件/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>448</td> <td>485</td> <td>486</td> <td>483</td> <td>390</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>▲8.2%</td> <td>+8.3%</td> <td>+0.2%</td> <td>▲0.6%</td> <td>▲19.3%</td> <td>+32.6%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	448	485	486	483	390	517	前年度比	▲8.2%	+8.3%	+0.2%	▲0.6%	▲19.3%	+32.6%
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
数値	448	485	486	483	390	517																
前年度比	▲8.2%	+8.3%	+0.2%	▲0.6%	▲19.3%	+32.6%																
指標が後退している理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、不法投棄監視員等による監視パトロール及び市民の監視による通報が促進されたことにより、平年に比して通報件数が増加しました。 また、令和元年度の通報件数が、令和元年東日本台風等の影響により平年に比して大きく件数が減少したため、令和元年度と令和2年度における前年度比の差が大きくなっています。 																					
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄の減少に向け、監視パトロールなどの取り組みを継続・強化していくとともに、不法投棄監視サポーターの増員や、不法投棄防止地域活動支援事業を通じた、地域連携による監視活動などを実施していきます。 																					

指標14 中山間地域等直接支払交付対象面積 【年次報告書P23～24】

基準値	実績値			目標値	単位
	平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	
1,188	1,200	1,128	×	1,199	ha/年

指標の定義 算出方法 等	<ul style="list-style-type: none"> 「中山間地域等直接支払集落協定」を締結した集落の協定農用地面積です。 この協定は、農地が傾斜地にありまとまった耕地が少ないなど、平地に比べて生産性が低く、耕作放棄が起こりやすい中山間区域などの農業者や生産組織などが、耕作放棄地の発生を防止するため、農業生産活動や農地の多面的な機能を増進する活動について話し合い、これらの内容を集落協定として締結したものです。この協定に基づいて、農地の不利性や耕作する面積に応じて交付金（中山間地域等直接支払交付金制度）が交付されます。 																					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 72 ha/年の減少（▲6.0%） 基準年度比 60 ha/年の減少（▲5.1%） <p><指標の推移> (単位：ha/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>1,158</td> <td>1,160</td> <td>1,193</td> <td>1,202</td> <td>1,200</td> <td>1,128</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>▲2.5%</td> <td>+0.2%</td> <td>+2.8%</td> <td>+0.8%</td> <td>▲0.2%</td> <td>▲6.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	1,158	1,160	1,193	1,202	1,200	1,128	前年度比	▲2.5%	+0.2%	+2.8%	+0.8%	▲0.2%	▲6.0%
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
数値	1,158	1,160	1,193	1,202	1,200	1,128																
前年度比	▲2.5%	+0.2%	+2.8%	+0.8%	▲0.2%	▲6.0%																
指標が後退している理由	<ul style="list-style-type: none"> 本制度は平成27年度に第4期対策（H27～R1）、令和2年度に第5期対策（R2～R6）に移行しており、移行の際に既存の取組集落も新たに集落協定を締結することとなりますが、協定参加者の高齢化による作業負担・事務負担の増加などの要因により、協定農用地面積を縮小させる集落や、取組の継続そのものを断念する集落が多数発生している状況です。 																					
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 制度の周知に努め、新規に取り組む集落の誘導を推進することで交付対象面積の拡大を図るとともに、集落の提出書類の作成を支援するなど、集落の事務負担の軽減を図ります。 																					

指標17 保存樹林面積 【年次報告書 P 23～24】

基準値	実績値			目標値	単位
	平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	
6.04	6.04	5.81	×	6.00	ha

指標の定義 算出方法 等	<ul style="list-style-type: none"> 「いわき市緑の保護及び緑の育成に関する条例」に基づく保存樹林面積です。保存樹林とは、「自然環境と美観風致の維持確保」「潤いのある市民生活」「緑化推進と緑化知識の啓発」「巨木・古木を後世に残す」を目的として、指定された樹木の集団です。 																					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 0.23 ha の減少 (▲ 3.8%) 基準年度比 0.23 ha の減少 (▲ 3.8%) <p><指標の推移> (単位：ha)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>6.04</td> <td>6.04</td> <td>6.04</td> <td>6.04</td> <td>6.04</td> <td>5.81</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>▲3.8%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	5.81	前年度比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲3.8%
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
数値	6.04	6.04	6.04	6.04	6.04	5.81																
前年度比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲3.8%																
指標が後退している理由	<ul style="list-style-type: none"> 近年の宅地造成により伐採・指定解除の申請があり、指定を解除したことから、減少したものです。 																					
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 巨木や古木等は、地域のシンボルとなり、市民の緑化に対する意識啓発を促す効果を持っていることから、保存樹木・保存樹林の指定を推進し、減少率の低減に努めます。 																					

指標 26 水質（海域）環境基準達成率 【年次報告書 P 29～30】

基準値	実績値			目標値	単位
	平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	
100.0	100.0	88.9	×	100.0	%

指標の定義 算出方法 等	<ul style="list-style-type: none"> 河川及び海域における生活環境項目の BOD（生物化学的酸素要求量）又は COD（化学的酸素要求量）の環境基準達成率を評価しています。達成状況については、「延べ基準達成測定地点数／延べ測定地点数」により指標化しています。 																					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 11.1 ポイントの減少 基準年度比 11.1 ポイントの減少 <p>○ 88.9% = (基準達成) 8 地点 / (測定数) 9 地点</p> <ul style="list-style-type: none"> 本調査は、福島県が作成した「福島県水質測定計画」に基づき、市内海域における水質汚濁状況の把握を目的に行っているものです。 <p><指標の推移> (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>▲11.1%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	88.9	前年度比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲11.1%
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
数値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	88.9																
前年度比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲11.1%																
指標が後退している理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、水質汚濁の指標である化学的酸素要求量（COD）において1水域で環境基準未達成となりましたが、その主な原因は、降雨により河川水や底質巻き上げの影響を受けたものと考えられます。 																					
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適切な調査を行い、水質汚濁状況の把握に努めることとします。 																					

指標 33 ISO14001・エコアクション 21 認定証取得事業者数 【年次報告書 P 33～34】

基準値	実績値			目標値	単位
	平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	
75	87	79	×	85	件

指標の定義 算出方法 等	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した事業活動への取り組みとして、環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 及び環境省のガイドラインに基づいた簡易な環境マネジメントシステムであるエコアクション 21 の認証を取得している市内の事業所数です。 件数は、公益財団法人日本適合性認定協会及びエコアクション 21 中央事務局のホームページで公開されている市内事業所数です。 																					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 8 件の減少 (▲ 9.2%) 基準年度比 4 件の増加 (+ 5.3%) <p>< 指標の推移 > (件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>75</td> <td>83</td> <td>83</td> <td>87</td> <td>87</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>0.0%</td> <td>+10.7%</td> <td>0.0%</td> <td>+4.8%</td> <td>0.0%</td> <td>▲9.2%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	75	83	83	87	87	79	前年度比	0.0%	+10.7%	0.0%	+4.8%	0.0%	▲9.2%
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
数値	75	83	83	87	87	79																
前年度比	0.0%	+10.7%	0.0%	+4.8%	0.0%	▲9.2%																
指標が後退している理由	<ul style="list-style-type: none"> ISO14001 の取得により組織のシステムが確立しやすくなる、他社から信頼を得やすくなる等のメリットがあるものの、保管する記録が増える、審査費用の発生、書類作成の手間が増える等の理由から、ISO 認証を返上する企業が増加していると考えられます。 																					
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 や環境省のガイドラインに基づいた簡易な環境マネジメントシステムであるエコアクション 21 の認証取得は、環境に配慮した事業活動の取組につながることから、これらの理解促進に努め、取得事業者の増加を図ります。 																					

指標35 森林ボランティア活動等参加者数 【年次報告書 P 35～36】

基準値	実績値			目標値	単位
	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	令和2年度	
平成26年度	767	591	×	1,000	人/年

指標の定義 算出方法 等	<ul style="list-style-type: none"> 植樹や下刈りなど豊かな森林づくりの活動に、自主的に参加した市民の人数です。 「いわき市森林ボランティア活動支援事業補助金」を受けた団体及び「市植樹祭」参加者を包括的な森林ボランティアとして捉え、それぞれの取り組みの年間総参加者数を「豊かな里地・里山づくり」の取り組み具合を示す指標に設定しています。 																					
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 176 人/年の減少 (▲ 23.0%) 基準年度比 35 人/年の減少 (▲ 5.6%) <p><指標の推移> (人/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>639</td> <td>945</td> <td>850</td> <td>764</td> <td>767</td> <td>591</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>+2.1%</td> <td>+47.9%</td> <td>▲10.1%</td> <td>▲10.1%</td> <td>+0.4%</td> <td>▲23.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	639	945	850	764	767	591	前年度比	+2.1%	+47.9%	▲10.1%	▲10.1%	+0.4%	▲23.0%
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																
数値	639	945	850	764	767	591																
前年度比	+2.1%	+47.9%	▲10.1%	▲10.1%	+0.4%	▲23.0%																
指標が後退している理由	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大人数での活動が抑制されたことにより、前年度より減少しております。 																					
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの発生状況を勘案しながら、参加人数の増に向けた広報活動を進め、また、開催時期についても考慮し、参加人数の増加を図っていきます。 																					

指標38 紙（コピー用紙）の使用量 【年次報告書P37～38】

基準値	実績値			目標値	単位
平成26年度	令和元年度	令和2年度	目標達成状況	令和2年度	
230	337	356	×	219	t/年

指標の定義 算出方法等	<ul style="list-style-type: none"> 市の事務事業にて直接使用する紙（コピー用紙）の使用量です。（指定管理者制度導入施設を除く。） 1箱あたりA4：10kg、A3：12kg、B5：7.5kg、B4：15kgで換算 																											
現状	<ul style="list-style-type: none"> 前年度比 19tの増加（+5.6%） 基準年度比 126tの増加（+54.8%） <p><指標の推移> (単位：t/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>233</td> <td>249</td> <td>317</td> <td>330</td> <td>337</td> <td>356</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>+1.3%</td> <td>+6.9%</td> <td>+27.3%</td> <td>+4.1%</td> <td>+2.1%</td> <td>+5.6%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	数値	233	249	317	330	337	356	前年度比	+1.3%	+6.9%	+27.3%	+4.1%	+2.1%	+5.6%
	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2																					
	数値	233	249	317	330	337	356																					
	前年度比	+1.3%	+6.9%	+27.3%	+4.1%	+2.1%	+5.6%																					
<ul style="list-style-type: none"> 紙（コピー用紙）の使用量は、前年度と比較して、約19t（5.6%）の増となっております。 増加の理由としては、新型コロナウイルスの影響により、通知文及び生徒のワークシート等の印刷量が増えたことから、特に小中学校部門において増加しております。 																												
指標が後退している理由																												
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 紙（コピー用紙）の使用量の削減に向けては、各部門における使用実態等を勘案しながら、全庁的な電子メール、電子決裁の活用等による書類のペーパーレス化、使用済みコピー用紙（裏紙）の再利用、資料・事務手続きの簡素化の検討、両面印刷による資料のスリム化、必要最小限のコピーを徹底するなどの取組みを継続的に推進していきます。 																											

<参考> 部門別紙（コピー用紙）の使用量 (単位：kg)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	構成比
オフィス部門計	130,320	132,202	119,564	123,874	132,682	132,080	37.1%
本庁舎計	100,608	102,260	84,685	89,495	97,678	96,566	27.1%
東分庁舎	12,642	12,295	12,954	10,346	12,206	14,119	4.0%
支所等	17,070	17,647	21,925	24,033	22,798	21,395	6.0%
事業部門計	166,766	175,797	197,527	206,359	203,920	223,884	62.9%
市民利用施設 (学校、公民館等)	116,115	125,928	144,263	145,881	148,777	164,961	46.3%
市民サービス事業 (共立病院、消防本部)	38,519	37,349	40,525	48,296	43,497	46,793	13.1%
ライフライン事業 (清掃センター、浄水場等)	12,133	12,520	12,740	12,182	11,647	12,130	3.4%
合計	297,087	307,999	317,091	330,232	336,602	355,964	100.0%